

# 2024年1月期 第3四半期 決算補足資料

---

株式会社シーイーシー (9692)

2023年12月11日

## 1. 2024年1月期 第3四半期経営成績

## 2. 2024年1月期 通期業績見通し

## 3. Appendix

## 1. 2024年1月期 第3四半期経営成績

## 2. 2024年1月期 通期業績見通し

## 3. Appendix

# 2024年1月期 第3四半期 業績ハイライト

- 主要顧客のDX需要増加に伴い、システム開発案件が好調に推移し増収増益
- 営業利益と経常利益は過去最高を更新も、四半期純利益は前年度の特別利益計上の反動減影響※

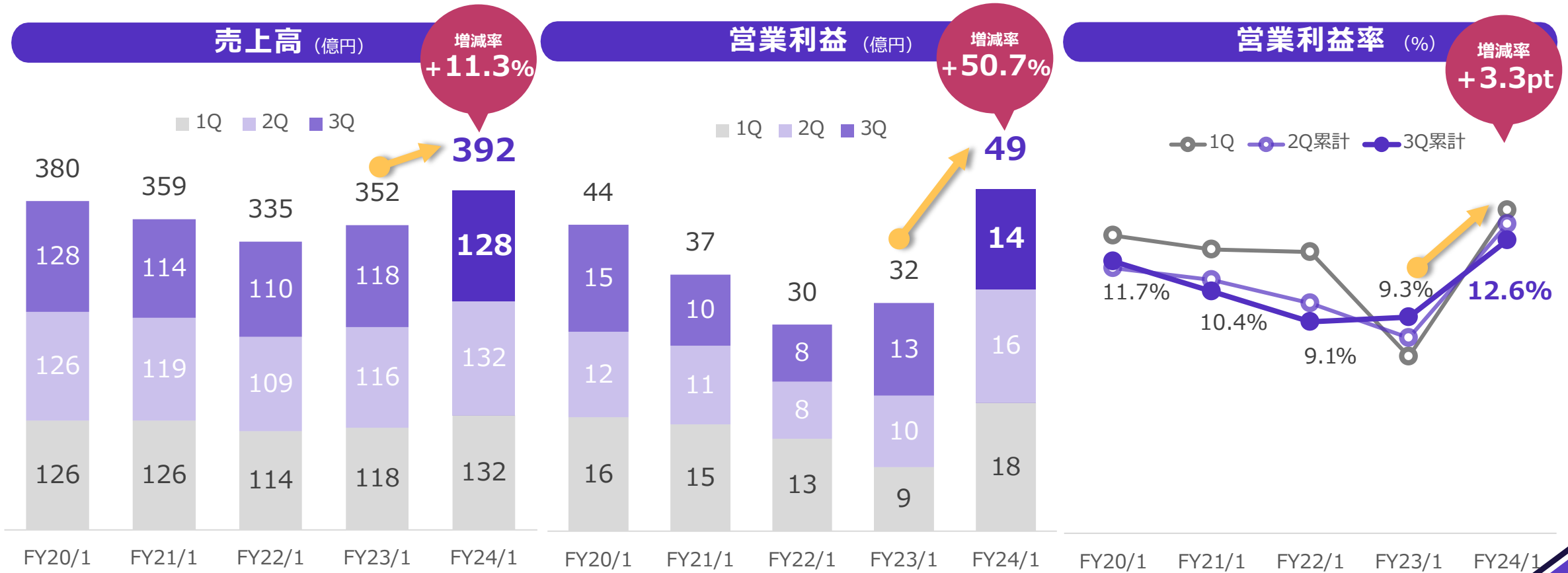
(単位：百万円)

	2023年1月期 第3四半期	2024年1月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	35,288	<b>39,275</b>	+3,987	+11.3%
営業利益	3,277	<b>4,940</b>	+1,662	+50.7%
同率	9.3%	<b>12.6%</b>	+3.3pt	—
経常利益	3,296	<b>4,969</b>	+1,672	+50.7%
同率	9.3%	<b>12.7%</b>	+3.4pt	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,381	<b>3,410</b>	▲971	▲22.2%
同率	12.4%	<b>8.7%</b>	▲3.7pt	—

※2023年1月期 第2四半期に投資有価証券売却益を特別利益に計上

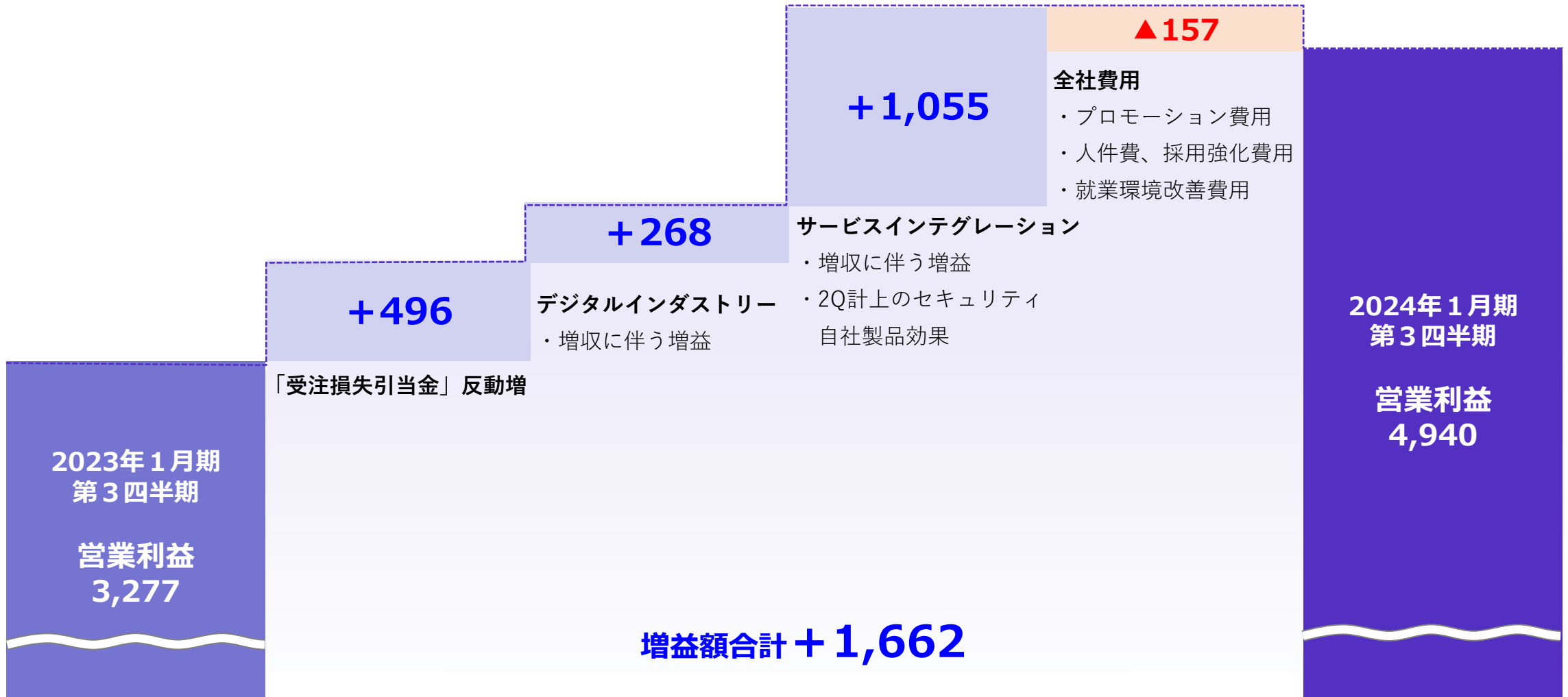
# 四半期業績推移

- 売上高は主力事業ならびに注力事業が伸長し増収
- 営業利益は増収効果、自社ソリューション拡販、受注損失引当金計上の反動増(1Q)により増益
- 営業利益率はセキュリティ自社製品の売上拡大により高水準を維持



# 連結営業利益の主な増減要因

(単位：百万円)



# 事業セグメント別前年比較

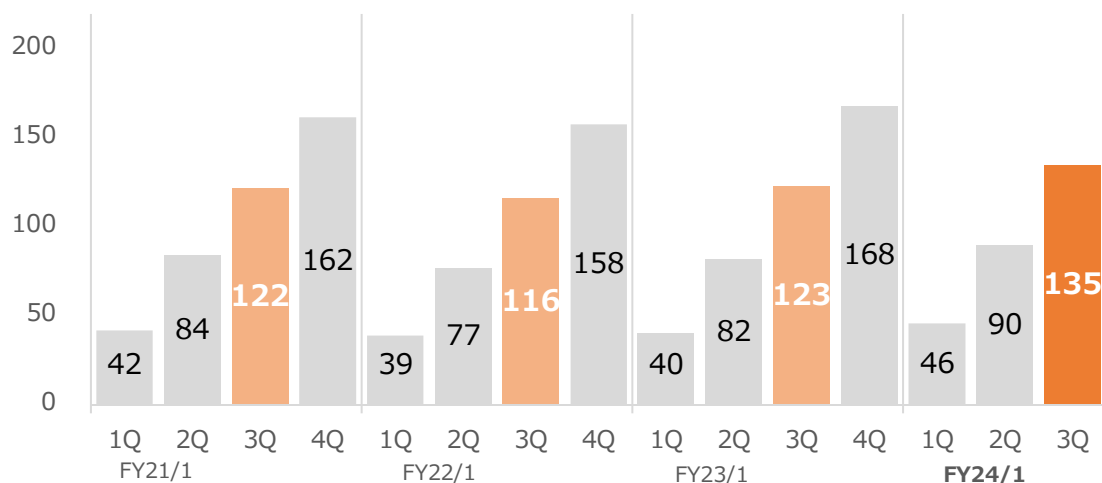
- デジタルインダストリーは、製造業顧客のICT投資が堅調を維持したことにより増収増益
- サービスインテグレーションは、ICTインフラ構築事業およびシステム開発事業が伸長したことにより増収、営業利益は増収効果、自社製品拡販、受注損失引当金の反動増(1Q)により増益

(単位：百万円)

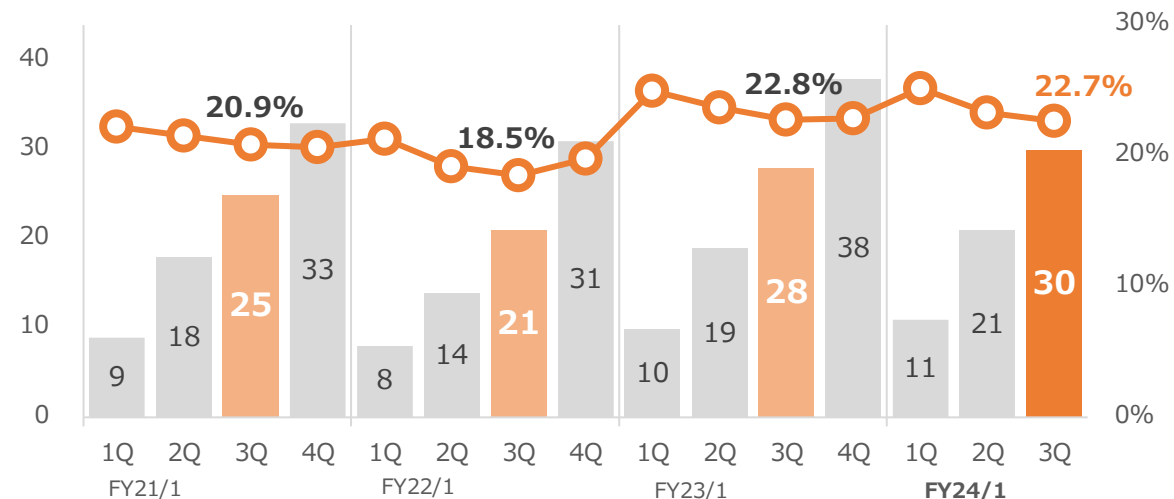
	2023年1月期 第3四半期		2024年1月期 第3四半期		増減額	
	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益 同率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	12,309	2,805 22.8%	<b>13,518</b>	<b>3,073</b> 22.7%	+1,208 (+9.8%)	+268 (+9.6%)
サービス インテグレーション	22,978	3,440 15.0%	<b>25,757</b>	<b>4,992</b> 19.4%	+2,778 (+12.1%)	+1,551 (+45.1%)
全社費用	—	▲2,967	—	▲3,125	—	▲157
合計	35,288	3,277 9.3%	<b>39,275</b>	<b>4,940</b> 12.6%	+3,987 (+11.3%)	+1,662 (+50.7%)

# デジタルインダストリー事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)



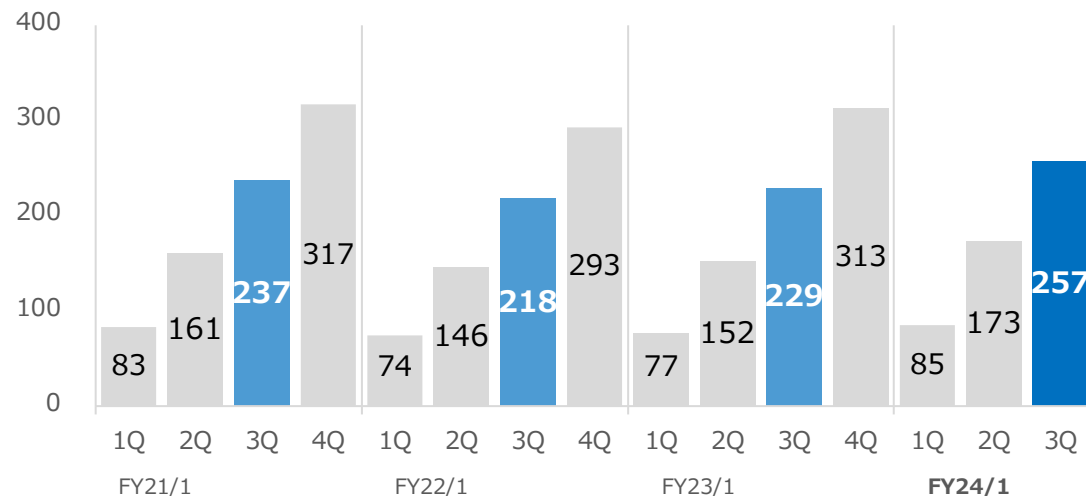
事業区分	売上高 増減率	利益 増減率	ポイント
スマートファクトリー			● 製造業DX需要は堅調継続も、自社製品の販売は伸び悩み、売上利益ともに横ばい
コネクティッドサービス			● コネクティッド関連のクラウド開発や自動車業向けのビッグデータ基盤構築が好調に推移 ● 自動テストへのシフトが大きく進む検証サービスも顧客の需要を捉え堅調維持
中部サービス			● 主要顧客における設計分野および基幹系(部品表)のシステム開発案件が伸長 ● 前年は顧客の期末需要増であったが、今期は通常の利益水準に戻る
西日本サービス			● 自社の物流ソリューションの伸長に加え、システム開発(医療系製造業やEOSサービス)が増加

☀️ +10%以上    🌞 +5~10%未満    ☁️ ±5%未満    🌧️ ▲5~10%未満    🌧️ ▲10%以上

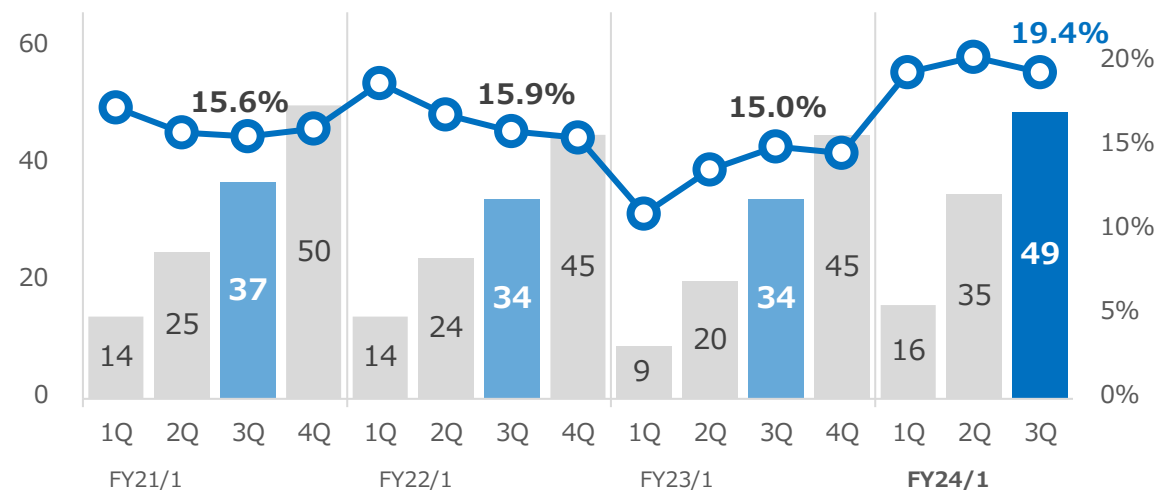


# サービスインテグレーション事業

■ 売上高 (億円)



■ 営業利益・営業利益率 (億円・%)

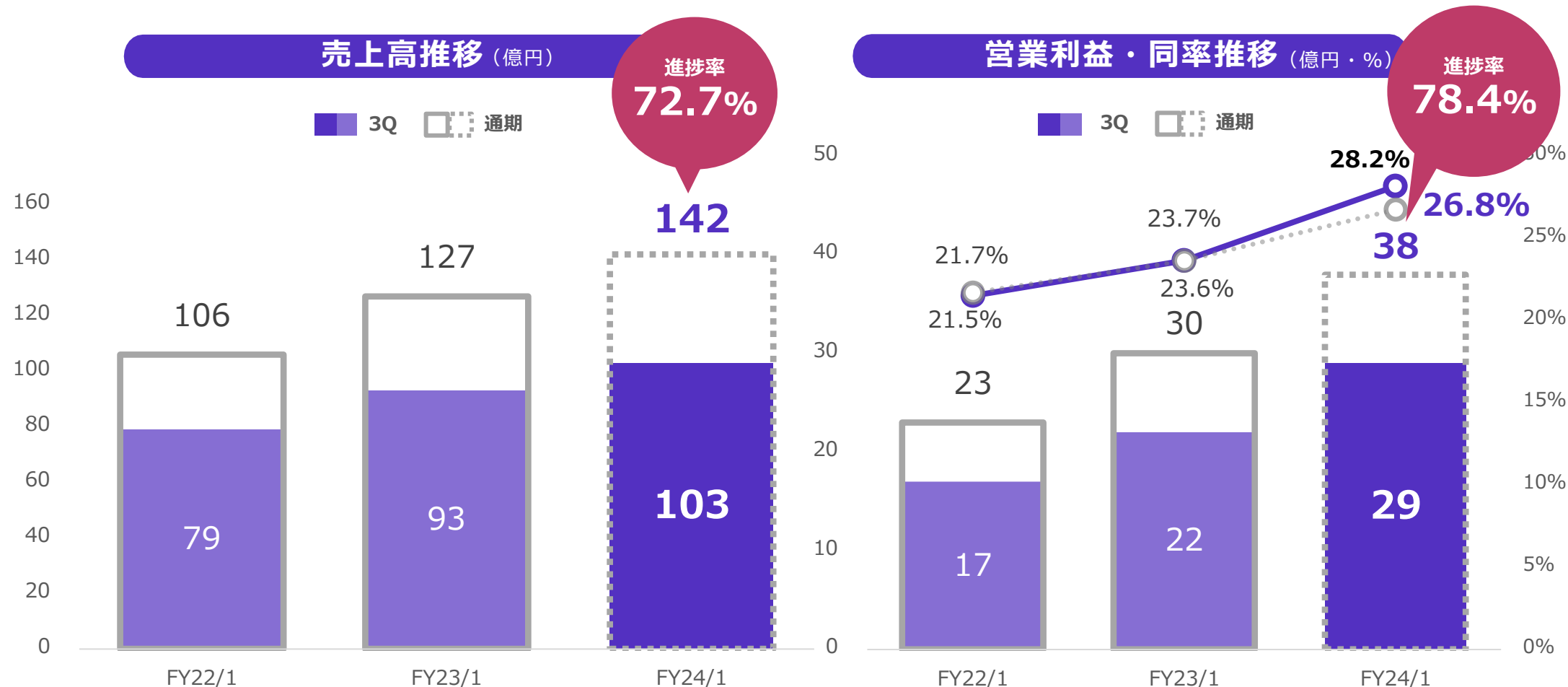


事業区分	売上高 増減率	利益 増減率	ポイント
サービスインテグレーション			<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産性向上等のニーズにより主要顧客向けのシステム開発および保守案件は好調に推移</li> <li>●マイクロソフト連携サービスおよびマイグレーションサービスはDX需要を背景に堅調維持</li> </ul>
プラットフォームアーキテクト			<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICTインフラ構築事業は運用需要の拡大と半導体供給の正常化も伴い売上利益ともに伸長</li> <li>●セキュリティは2Qに自社製品の大型案件計上で利益面で貢献も、仕入販売減により売上は横ばい</li> </ul>
グループ会社			<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要顧客向けのニアショア開発商談や運用案件が増加し、売上利益ともに堅調維持</li> </ul>

+10%以上 
 +5~10%未満 
 ±5%未満 
 ▲5~10%未満 
 ▲10%以上

# 注力事業の進捗概要

- 売上は顧客のDX需要に沿ったICT利活用提案が奏功し、計画どおりに進捗
- 営業利益(率)は各事業の順調な進捗を考慮して、通期予想を33億円から**38億円に上方修正**



# 注力事業の進捗詳細

## ■ 進捗は領域ごとに濃淡あり、モビリティサービス・セキュリティサービスが全体をリード

デジタルインダストリー	生産・物流ソリューション	対通期売上 目標進捗率 <b>71.2%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産：製品販売の伸び悩みにより進捗率は遅れ気味、製造業DX商談は増加</li> <li>●物流：物流問題を背景に商談は増加し、自社の物流ソリューションが活況</li> </ul>
	モビリティサービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラウド開発や自動車業向けのビッグデータ基盤構築案件が好調に推移</li> <li>●MaaS領域におけるスマートフォンのアプリケーション開発支援も好調に推移</li> </ul>
サービスインテグレーション	マイクロソフト連携サービス	対通期売上 目標進捗率 <b>73.9%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DX需要が旺盛でDynamics365およびPower Platformは好調</li> <li>●顧客情報一元化の需要増加により、特にDynamics365のCRM領域が伸長</li> </ul>
	マイグレーションサービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>●コストや拡張性を重視する企業が増え、オンプレミスからクラウドへの移行案件が好調</li> <li>●セキュリティ強化目的でプログラミング言語移行の案件が好調</li> </ul>
	セキュリティサービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>●2Qに獲得した官公庁向けセキュリティ自社製品の大型商談により利益を底上げ</li> <li>●自治体の強靱化の更新需要は落ち着き仕入販売は減少も自社サービス需要は拡大</li> </ul>
	DXクラウド基盤		<ul style="list-style-type: none"> <li>●顧客ニーズや差別化によるサービス構成、対象領域の拡大を含めて方針を再検討</li> </ul>

# 受注高・受注残高の推移

■ デジタルインダストリー ■ サービスインテグレーション

## 受注高

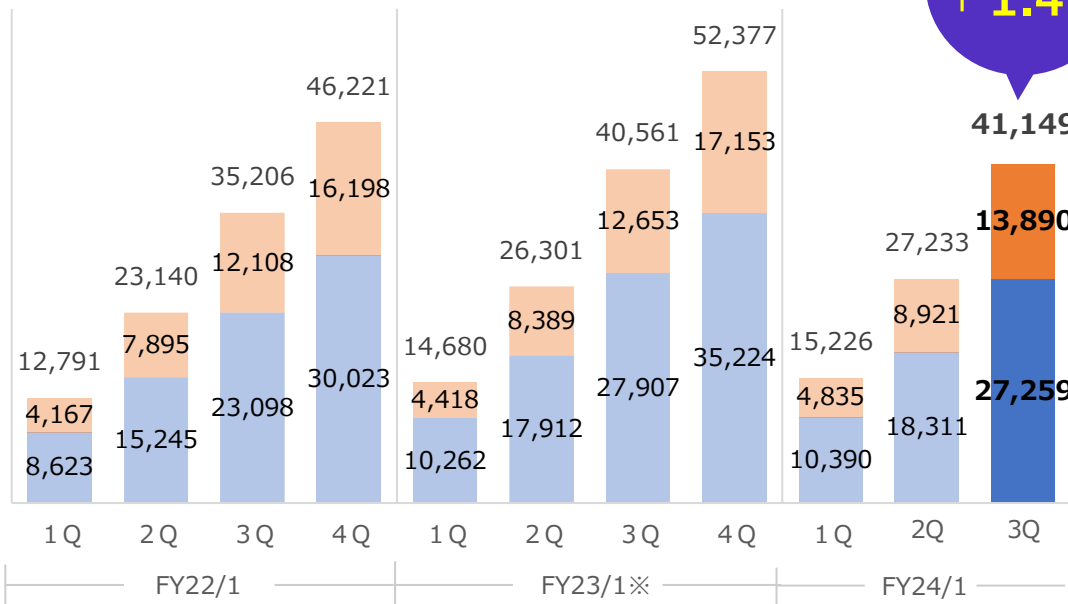
- 自動車業界向けのモビリティサービスが好調、加えて物流ソリューションが堅調
- 注力事業を中心に伸長も、ICTインフラ構築による大型案件更新の谷間により受注高は前年並み

## 受注残高

- モビリティサービス、自動車やその他製造業向けシステム開発案件が伸長
- マイクロソフト連携サービス・マイグレーションサービス等の注力事業、ICTインフラ構築案件が増加

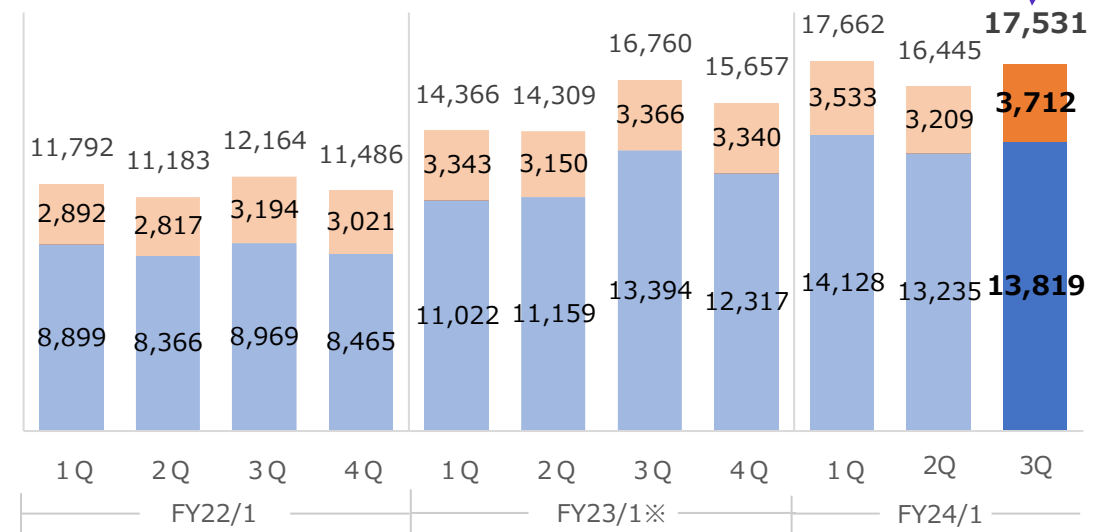
### 受注高 (百万円)

増減率  
**+1.4%**



### 受注残高 (百万円)

増減率  
**+4.6%**



※FY23/1は収益認識会計基準等の適用に際し、一部長期案件の受注計上時期を変更しております。従来の計上方法におけるFY24/1 3Q受注高は前期比+6.2%です。

※ 従来の計上方法におけるFY24/1 3Q受注残高は前期比+17.3%です。

# 受注高・受注残高の詳細

## ■ モビリティサービスおよびマイグレーションサービスに加えてICTインフラ構築案件が増加

デジタルインダストリー	スマートファクトリー	<ul style="list-style-type: none"><li>●一部主要顧客の投資抑制影響を受け、受注高は減少傾向</li></ul>
	コネクティッドサービス	<ul style="list-style-type: none"><li>●自動車業界向けのビッグデータ基盤構築は引き続き好調</li><li>●自動テストへのシフトが進む検証サービスは車載検証に加えて製品検証が堅調</li></ul>
	中部サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>●主要顧客における基幹系システム開発に加え、運用案件も増加</li></ul>
	西日本サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>●医療系製造業向けシステム開発が増加</li><li>●物流ソリューションの関連商談が伸長</li></ul>
サービスインテグレーション	サービスインテグレーション	<ul style="list-style-type: none"><li>●Dynamics365に加え、ローコード開発のPower Platformの需要増加により好調</li><li>●プログラミング言語の移行に伴うマイグレーション案件が堅調</li></ul>
	プラットフォームアーキテクト	<ul style="list-style-type: none"><li>●長期運用を含むICTインフラ構築案件が堅調</li><li>●セキュリティ自社製品が堅調</li></ul>
	グループ会社	<ul style="list-style-type: none"><li>●主要顧客向けのニアショア開発商談や運用案件が増加</li></ul>

# 業種別売上高前年比較

(単位：百万円)

	2023年1月期 第3四半期	2024年1月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構成比)	15,557 (44.1%)	<b>16,889</b> (43.0%)	<b>+1,332</b>	<b>+8.6%</b>
通 信・情サビ業 (構成比)	9,475 (26.8%)	<b>10,211</b> (26.0%)	<b>+736</b>	<b>+7.8%</b>
金 融 業 (構成比)	3,416 (9.7%)	<b>3,627</b> (9.2%)	<b>+211</b>	<b>+6.2%</b>
流 通 業 (構成比)	2,278 (6.5%)	<b>2,322</b> (5.9%)	<b>+44</b>	<b>+1.9%</b>
官 公 庁 (構成比)	1,281 (3.6%)	<b>2,831</b> (7.2%)	<b>+1,549</b>	<b>+120.9%</b>
そ の 他 (構成比)	3,279 (9.3%)	<b>3,393</b> (8.7%)	<b>+113</b>	<b>+3.5%</b>
合 計	35,288 (100%)	<b>39,275</b> (100%)	<b>+3,987</b>	<b>+11.3%</b>

業種別のポイント
<p><b>【製 造】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発案件が伸長</li> <li>・ICTインフラ構築案件が伸長</li> </ul>
<p><b>【通信・情サビ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手キャリア向けICTインフラ構築案件が伸長</li> </ul>
<p><b>【金 融】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発案件が伸長</li> <li>・商談規模の縮小</li> </ul>
<p><b>【流通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発案件が伸長</li> <li>・仕入販売が減少</li> </ul>
<p><b>【官公庁】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティが伸長</li> <li>・システム保守案件が伸長</li> </ul>

# 連結貸借対照表期初比較

(単位：百万円)

	2023年 1月末	2023年 10月末	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	35,208	38,326	+3,117	+8.9%
うち現金及び預金	23,302	26,099	+2,797	+12.0%
<b>固定資産</b>	11,124	11,068	▲56	▲0.5%
<b>総資産</b>	46,333	49,394	+3,061	+6.6%
<b>流動負債</b>	8,311	9,430	+1,118	+13.5%
<b>固定負債</b>	642	637	▲5	▲0.8%
<b>自己資本</b>	37,309	39,300	+1,991	+5.3%
<b>自己資本比率</b>	80.5%	79.6%	—	▲0.9pt

ポイント
<p><b>【資産】 増加</b> 現預金の増加</p>
<p><b>【負債】 増加</b> 賞与引当金および 契約負債の増加</p>
<p><b>【自己資本】 増加</b> 利益剰余金の増加</p>

**1.** 2024年1月期 第3四半期経営成績

**2.** 2024年1月期 通期業績見通し

**3.** Appendix



# 2024年1月期 通期業績予想修正

- 依然として中国含む海外景気の不透明感は残るが、顧客のICT投資需要は堅調継続
- 両セグメントの順調な進捗を考慮して、通期業績予想を**上方修正**

(単位：百万円)

	2024年1月期 修正予想(2Q)	2024年1月期 修正予想(3Q)	前回予想比		前年同期比		
			増減	増減率	2023年1月期	増減	増減率
売上高	52,000	<b>53,000</b>	+1,000	+1.9%	<b>48,206</b>	+4,793	+9.9%
営業利益	6,070	<b>6,220</b>	+150	+2.5%	<b>4,374</b>	+1,845	+42.2%
同率	11.7%	<b>11.7%</b>	—	—	<b>9.1%</b>	+2.6pt	—
経常利益	6,100	<b>6,250</b>	+150	+2.5%	<b>4,413</b>	+1,836	+41.6%
同率	11.7%	<b>11.8%</b>	+0.1pt	—	<b>9.2%</b>	+2.6pt	—
当期純利益	4,200	<b>4,300</b>	+100	+2.4%	<b>5,179</b>	▲879	▲17.0%
同率	8.1%	<b>8.1%</b>	—	—	<b>10.7%</b>	▲2.6pt	—

# 事業セグメント別通期業績予想

- デジタルインダストリー：注力事業のモビリティサービスは引き続き好調見込み
- サービスインテグレーション：主力事業、注力事業ともに堅調に推移する見通し

(単位：百万円)

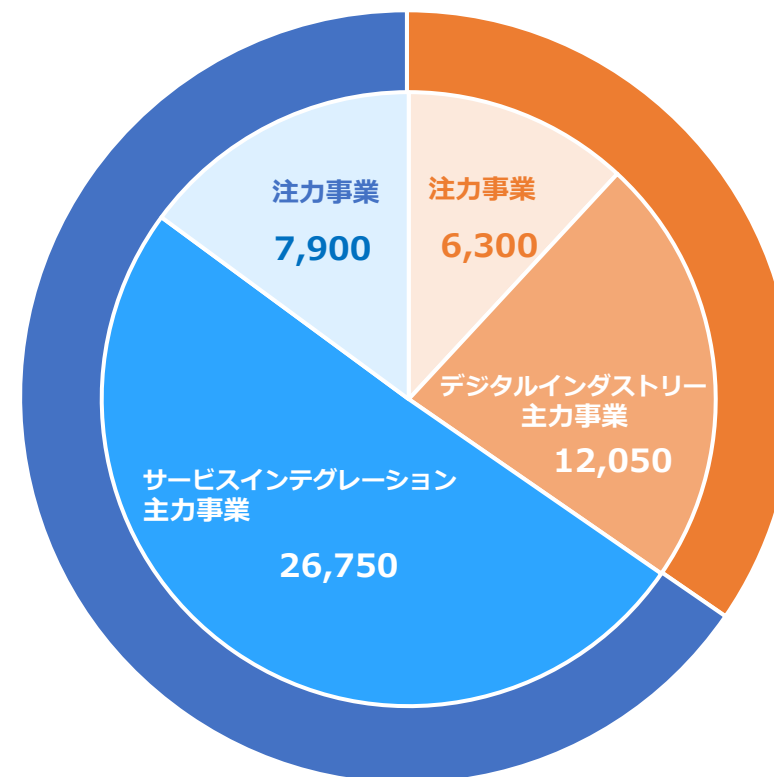
	2023年1月期 実績		2024年1月期 予想		増減額	
	売上高	営業利益 同率	売上高	営業利益 同率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	16,834	3,857 22.9%	18,350	4,170 22.7%	+1,515 (+9.0%)	+312 (+8.1%)
サービス インテグレーション	31,372	4,573 14.6%	34,650	6,300 18.2%	+3,277 (+10.4%)	+1,726 (+37.7%)
全社費用	-	▲4,057	-	▲4,250	-	▲192
合計	48,206	4,374 9.1%	53,000	6,220 11.7%	+4,793 (+9.9%)	+1,845 (+42.2%)

# 事業セグメント別通期業績予想

## ■ 売上高・営業利益予想 (単位: 百万円)

		2024年1月期 第3四半期	2024年1月期	
			通期予想	進捗率
デジタルインダストリー 事業	売上高	13,518	18,350	73.7%
	営業利益	3,073	4,170	73.7%
内、注力事業	売上高	4,488	6,300	71.2%

		2024年1月期 第3四半期	2024年1月期	
			通期予想	進捗率
サービスインテグレーション 事業	売上高	25,757	34,650	74.3%
	営業利益	4,992	6,300	79.2%
内、注力事業	売上高	5,837	7,900	73.9%



(2024年1月期 事業セグメント別売上高目標)

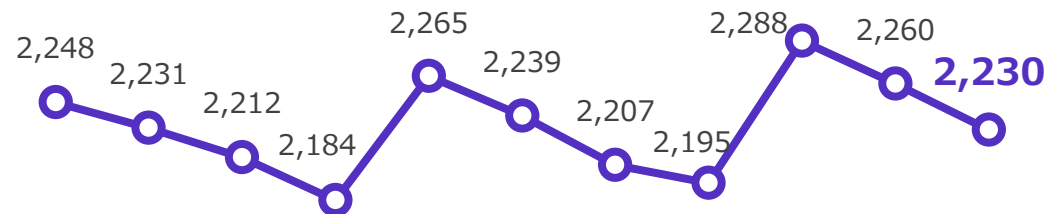
**1.** 2024年1月期 第3四半期経営成績

**2.** 2024年1月期 通期業績見通し

**3.** **Appendix**

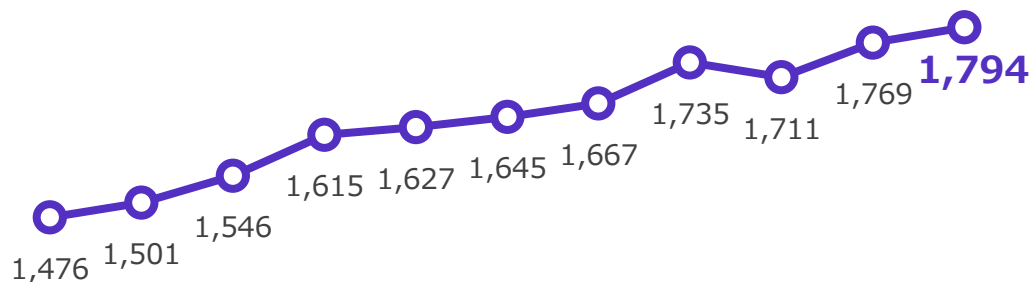
# その他の指標

## ■ 従業員数の推移 (単位:名)



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
FY22/1				FY23/1				FY24/1		

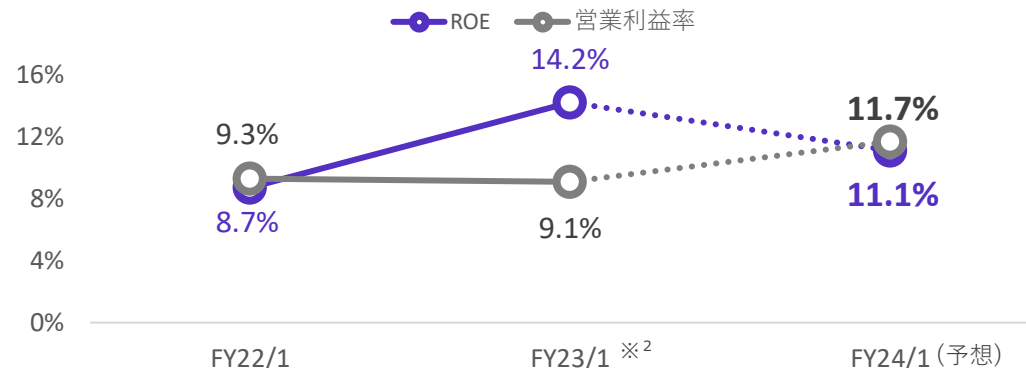
## ■ パートナー人数の推移 ※<sup>1</sup> (単位:名)



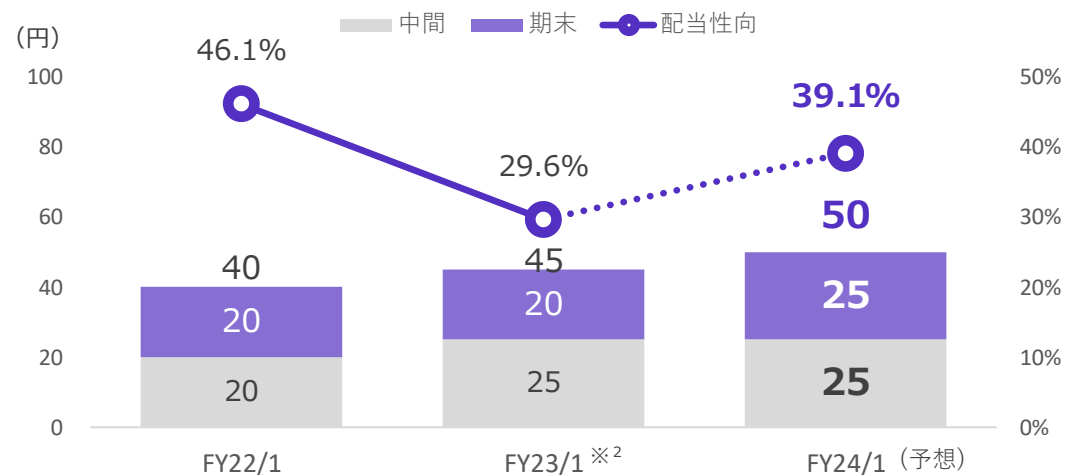
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
FY22/1				FY23/1				FY24/1		

※<sup>1</sup>シーイーシー<単体> 請負契約含めず

## ■ ROE・営業利益率推移



## ■ 配当性向および配当金推移

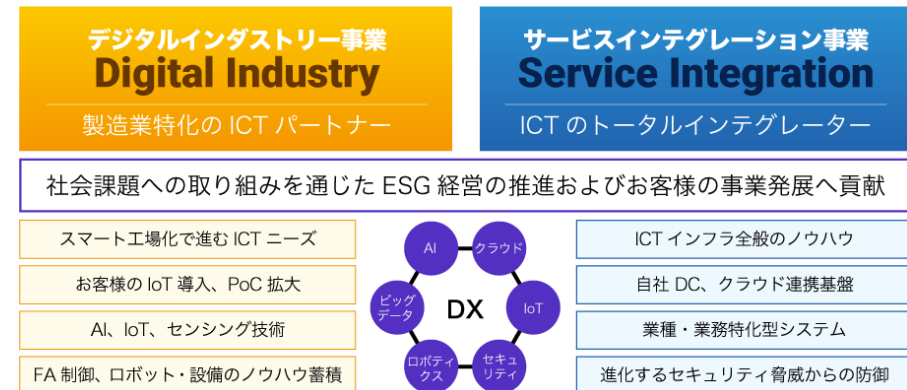


※<sup>2</sup>2023年1月期 上期は投資有価証券売却による特別利益を計上し5円増配

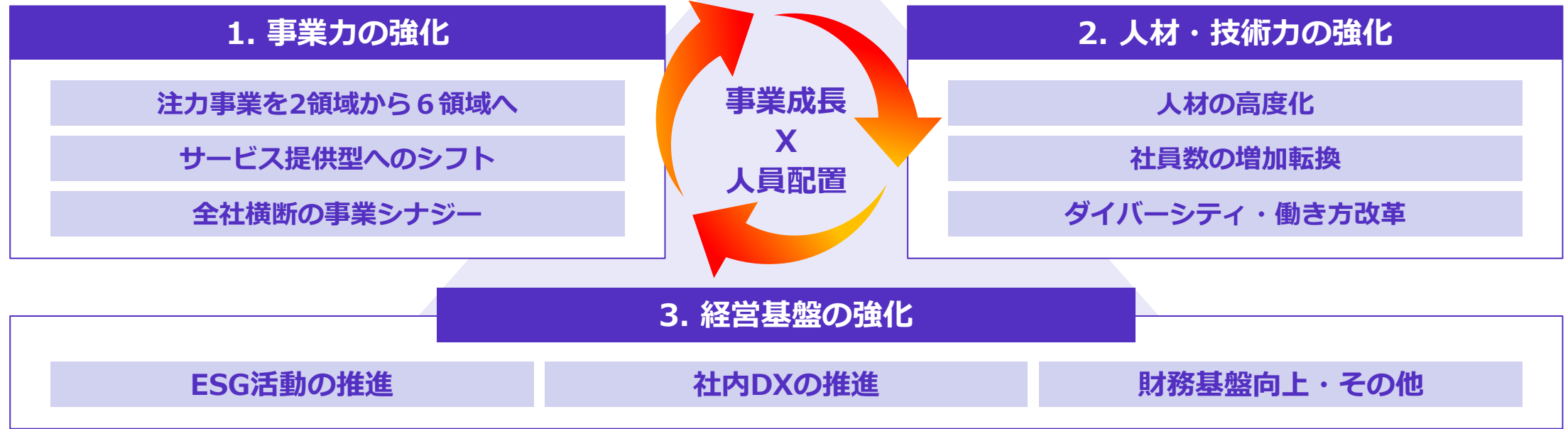
<b>名称</b>	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.
<b>設立年月日</b>	1968年2月24日
<b>上場取引所</b>	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）
<b>資本金</b>	65億8千6百万円
<b>売上高</b>	482億6百万円（2023年1月期）
<b>各種許認可</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経済産業省システム監査企業台帳登録企業</li> <li>■ 経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業</li> <li>■ プライバシーマーク認定事業者11820032（13）</li> <li>■ JQA認定             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481）</li> <li>・ 情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007）</li> <li>・ クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040）</li> <li>・ ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005）</li> <li>・ 環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701）</li> </ul> </li> <li>■ 電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日）</li> </ul>

<b>従業員数</b>	2,230名（2023年10月31日現在）
<b>連結子会社</b>	8社
<b>本社事務所</b>	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
<b>代表者</b>	代表取締役社長 姫野 貴
<b>事業内容</b>	<p>■ <b>デジタルインダストリー事業</b> 製造業のお客様を中心に、業務の効率化や品質の向上、魅力ある製品づくりを支援するICTサービス・製品を提供</p> <p>■ <b>サービスインテグレーション事業</b> 企業・組織の業務改革・改善に必要な、ICTライフサイクル全般を支援クラウド、セキュリティ含むICTサービス・製品をトータルで提供</p>

## <サステナブルな社会実現に貢献する2つの事業>



## Vision 2025 「ICT技術で未来を創る企業」へ



	売上高	経常利益	経常利益率	ROE・配当性向
<b>経営指標の目標値</b>	<b>560億円</b>	<b>69億円</b>	<b>12%以上</b>	<b>ROE：12%以上 配当性向：40%以上</b>

## 製造業特化のICTパートナー

	事業概要	強み
スマートファクトリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造業の生産物流分野を対象とする 製品企画、製品開発・システム開発、保守、ソリューションサービス業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場現場の情報基盤</li> <li>● AI画像認識・検知</li> <li>● OT領域のノウハウ</li> <li>● 自社製品のラインアップ</li> </ul>
コネクティッドサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モビリティを中心とした IoT コネクティッド分野に関するコンサルティング・システム開発・保守運用、ソリューションサービス業務</li> <li>● 車載機器を中心とした組み込みソフトウェア開発に関する業務</li> <li>● 自動テスト、CI/CD 構築などの品質ソリューションに関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラウド/車両制御など専門知識を持つエンジニア</li> <li>● モビリティサービスに関する開発知見やノウハウ</li> <li>● 企画・開発・保守と対応できるワンストップ対応力</li> </ul>
中部サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車産業を対象とする技術情報部門(部品表・PDM・CAD)、企業情報部門(販売・ファイナンス・経理)、企業情報部門(人事・生産物流)向けのICTサービス全般</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大手自動車メーカーとの繋がりや業務ノウハウ</li> <li>● 創業期からの直接取引による信頼関係</li> <li>● 豊富な業務経験(部品表・生産管理・調達・人事・経理)からくるレガシーシステムの知見</li> </ul>
西日本サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西・北陸エリアの業務SIおよびEOSソリューションを活用したSIサービスを提供</li> <li>● 物流・製造領域の IoT 分野を中心とした商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供</li> <li>● FA/産業機器、医療ヘルスケア分野を中心としたシステム開発・検証・保守・運用・導入サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流ソリューションにおける顧客別カスタマイズ対応</li> <li>● 空港、製造工場などの特殊案件に対する実績</li> </ul>



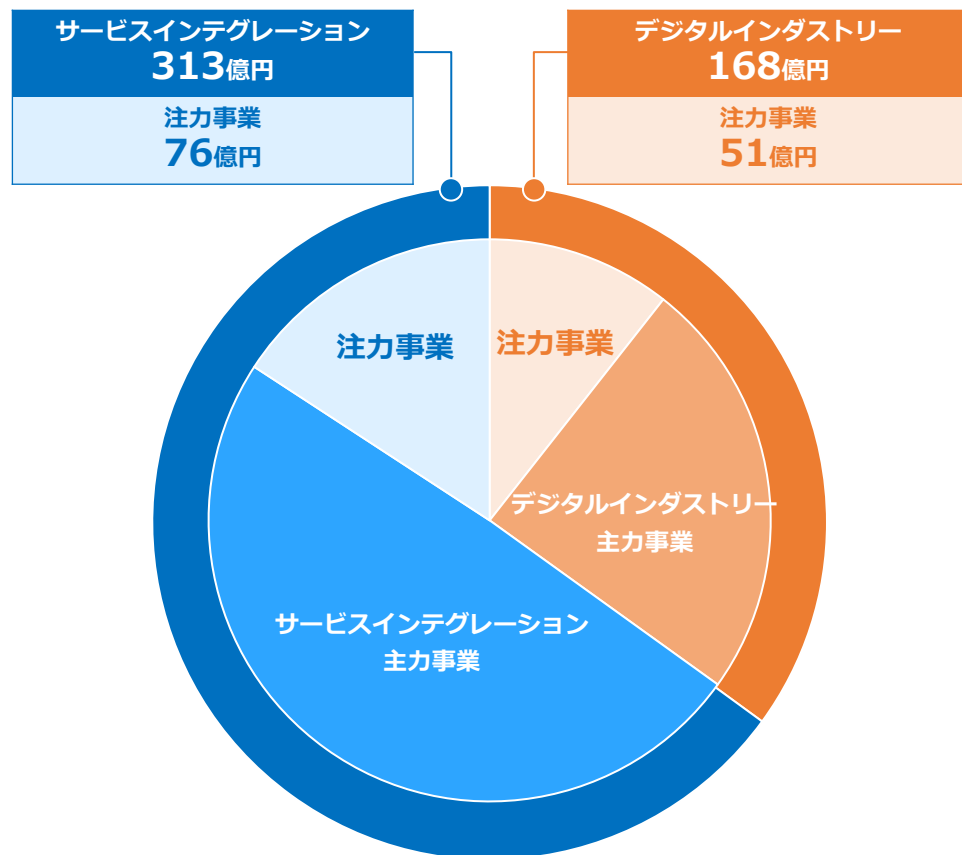
# 【セグメント情報】 サービスインテグレーション事業

## ICTのトータルインテグレーター

	事業概要	強み
エンタープライズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイクロソフト社のDynamics365、Microsoft365、Azure等のクラウドを活用したコンサル・システム開発・保守運用業務</li> <li>● 官公庁、自治体向けソリューション・システム開発・保守運用業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SFA領域での実績、ノウハウ</li> <li>● 官公庁、自治体向けクラウド開発の実績</li> </ul>
AXサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイグレーションサービスを活用したICTモダナイゼーションに関するコンサルティング・システム開発・保守運用業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチ対応が可能、ワンストップ対応力</li> <li>● 豊富なノウハウ×自動化ツール×専門技術者</li> </ul>
ビジネスシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀行・保険・クレジットカード・証券・リースなど金融分野を対象としたシステム開発・保守運用業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融業務のノウハウを熟知した技術者</li> <li>● 開発から運用を含めた一気通貫の提案対応力</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種セキュリティサービス、セキュリティ機器の監視・運用業務</li> <li>● 認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守運用業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品系: マルチメーカー対応、全国の販売チャネルを保有</li> <li>● サービス系: マルチベンダー対応、対応監視範囲の広さ</li> </ul>
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTシステムおよびクラウドサービスの企画検討から、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTインフラの設計・構築・移行・運用までワンストップ対応力</li> <li>● マルチベンダー・マルチクラウド対応可能</li> </ul>
データセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データセンターサービス、クラウドサービスに関する業務</li> <li>● システムの運用設計・導入支援・運用管理サービスに関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エンジニア常駐による24H365D対応が可能</li> <li>● 100%グリーン電力採用</li> </ul>
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニアショア開発・構築・保守運用業務</li> <li>● 人材派遣サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大手メーカーとの繋がりや業務ノウハウ</li> </ul>

# 注力事業について（2023年1月期実績）

## 全社売上482億円



## 注力事業：独自の長を生かした事業分野

デジタルインダストリー	生産・物流ソリューション	Visual Factory <sup>®</sup> LogiPull.	製造業向けの製品サービスに加え、物流ソリューション「LogiPull」を追加し、生産現場から物流までのデジタル化支援・DX戦略支援を行う
	モビリティサービス	PlusLocation. SimuField <sup>®</sup> -SC	主に自動車業界のコネクティッド分野における車載／交通ビッグデータを活用したサービスを展開する
サービスインテグレーション	マイクロソフト連携サービス	Convergent <sup>®</sup>	マイクロソフト社との連携ビジネスを推進、主にDynamics365／Azure基盤の経営分析・マーケティングでDXを支援する
	マイグレーションサービス	Re@nove <sup>®</sup> リノブ	レガシーICT刷新、クラウド移行やシステム・アプリ環境のDXを支援する
	セキュリティサービス	CyberNEXT <sup>®</sup> SmartSESAME	ネットワークに繋がるICT要素をセキュリティの脅威から防御する製品群を保有し、セキュリティのコンサル・設計・構築・運用サービスを行う
	DXクラウド基盤	BizVision	クラウドプラットフォームに自社製品のアプリケーションを載せクラウド化を推進

- ✓ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ✓ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ✓ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

株式会社シーイーシー

コーポレート統括本部 事業推進本部 経営企画部 IR担当      TEL : 03-5789-2442

コーポレート統括本部 管理本部 経理部 IR担当      TEL : 046-252-4111

E-mail : [IR@cec-ltd.co.jp](mailto:IR@cec-ltd.co.jp)